

令和4年度第2回白河市子ども・子育て会議 会議録

日 時： 令和5年2月2日（木） 午後2時

場 所： 白河市役所 4F 全員協議会室

出席者： 水上泰真人委員、吉見優一郎委員、小原圭一委員、十文字光伸委員、根本茂委員、野村恵子委員、佐藤慎一委員、安成知己委員、鈴木栄一委員、樋口葉子委員、永野美代子委員、鈴木祐江委員、浅賀秀寿委員（13名）

●令和4年度第2回白河市子ども・子育て会議

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議

(1) 令和4年度子ども・子育て支援事業実績値（見込み）について

事務局より、令和4年度子ども・子育て支援事業実績値について説明【資料1】

委員：P6の(6)子育て短期支援事業（ショートステイ）が一気に増えているが、
どういう要因で増えているのか。また、どこが実施しているのか。

事務局：ショートステイ事業については、ひとり親の家庭や産後うつなどの育児負担を抱える家庭で定期的に利用する人が増えている。定期的に使う人が1人増えれば、年間12人増える。現在定期的に利用している人が2、3人いる。こういう家庭の利用者が増えているので、利用者増につながっている。受け皿については、白河学園である。引き受けられるかは、新型コロナウイルスの感染状況により、その都度相談をさせていただきながら、事業を実施している。

委員：ショートステイ事業は、仕事の出張や冠婚葬祭、親の休息・リフレッシュを目的に利用できる。増えている要因としては、発達障がいを抱える子どもが増えていることが背景にある。発達障がいを抱える子どもの育児は手がかかるので家事や用事が済ませられない保護者もいる。イライラして手が出そうになる保護者もいる。そん

な時に、1泊2日又は日帰りで、白河学園が子どもを預かり養育を行うことで虐待を未然に防ぐことができる。徐々に浸透してきている。当事業は、白河市と白河学園で委託契約を結び実施している。現在は白河市のほか、西郷村とも契約を結んでいる。今年度矢吹町からも依頼があり、令和5年度から契約を結ぶ予定である。入所者の状況に寄るため、必ず受け入れできる訳ではないが、地域のニーズがあるため、職員を配置して前向きに受け入れたいと考えている。

委員：ショートステイの申込窓口は、市か白河学園か。

委員：(市でも白河学園でも)両方で申込できる。白河学園では、児童家庭支援センターにご連絡いただくようにアナウンスしている。

(2) 白河市第2期子ども・子育て計画の中間年見直しについて

事務局より、白河市第2期子ども・子育て計画の中間年見直しについて説明【資料2-1～2-3】

委員：家庭相談システムとは。

事務局：家庭相談システムとは、家庭児童相談員が関わっているケースの台帳管理やケース会議などの記録を一括して管理するものである。

(3) 教育・保育施設の利用見込みについて

事務局より、教育・保育施設の利用見込みについて説明【資料3】

委員：学び舎（民間の児童クラブ）への補助はあるのか。

事務局：学び舎から、児童クラブ入会者の報告をもらい、学び舎に（運営費の）補助を行っている。

(4) 令和5年度会議計画について

事務局より、令和5年度会議計画について説明【資料4】

3 その他

・保健福祉部長より、市内の新型コロナウイルスワクチン接種実績及び今年度末で

ワクチン接種の公費負担がなくなる旨委員に説明を行った。

4 閉会